

山口県盲人福祉協会に MUDカレンダーを寄贈

山口県印刷工業組合青年部は「9月印刷の月イベント」として
9月13日 山口県盲人福祉協会にMUDカレンダー300部を寄贈しました。



メディアユニバーサルデザインの点字カレンダー 2012 やさしいCalendar

「誰にでもやさしい」をコンセプトに、シンプルなデザインの中にも「見やすい」「わかりやすい」「使いやすい」点字表示の卓上カレンダーです。基本情報は高齢者、色覚障がい者、弱者者など全ての人に公平に伝えられるよう、文字は1色で土日祝祭日をマーク化する事で見やすくしています。左右には月ごとにタブを設け、めくり易さも考慮しております。



昨年の取り組み

8月30日～9月17日の朝夕の通勤時間帯に、県内のコミュニティFM(カモンFM(下関)・FMきらら(宇部)・わっしょいFM(防府)・エフエム周南・エフエム萩)を使い、メディアユニバーサルデザインの啓発活動を実施しました。(22社の協賛をいただき、合計で130回の放送を行いました)

印刷の月とは

毎年9月は「印刷月間」と呼ばれています。これは、わが国活版印刷の先覚者、または「日本のグーテンベルク」とも呼ばれている本木昌造先生の遺徳を偲び、昭和52年より毎年9月1日～7日を印刷週間としたのが始まりです。いまでは一般の人々に、より親しみやすい印象の「9月印刷の月」と呼称が変更され、各地で啓発活動が行われています。

そこで、山口県印刷工業組合青年部では、印刷産業の社会的地位の向上と、印刷が情報・文化・生活価値を通じていかに社会に貢献しているかを社会に理解してもらう啓発普及期間と位置付けをし、今年度も活動を行いました。

